



浜田屋本店の瓦版 第4号

㈱浜田屋本店 TEL:0799-28-0330 FAX:0799-28-1556

2017年 10月発行

～ 大切な方にお送りする情報誌 ～

◆淡路島の生んだ偉人たち◆

まいど！ 浜田屋本店の濱田です。

今回は、淡路島が誇る偉人たちの話をさせていただきます。

まずは、知る人ぞ知る豪商「高田屋喜兵衛」です。

五色町鮎原（現洲本市）出身で、昆布を全国に広めた人です。神戸で商売を学び、北海道へ渡り、昆布、にしんを日本海側の航路（西回り）を開拓（沼島の九鬼水軍の力を借りた）して全国に広めました。

その当時、商業の都・大阪で塩昆布（小倉屋）ができました。

小倉屋の創業者は淡路島（旧三原郡）出身の松原久右衛門です。小倉屋は、番頭などに「のれん分け」をしてお店を広げ、繁盛期には65店舗もあったようです。昆布は軽くて便利で、さらに塩分とミネラル補給にも効果的だったので、中国にも輸出されていました。

余談ですが、うちのおじいさんが戎橋の小倉屋へ丁稚奉公に行っていたらしいです。

次に紹介するのが、緑町（現南あわじ市）出身の「永田秀次郎」です。

後藤新平という人に東京市長をやれと言われて市長になったそうです。市長になったその年の9月1日（防災の日）に関東大震災が起こりました。東京の町は焼け野原となり、その復興の指揮をとり、かなりの苦勞をして今の首都の基礎を作ったそうです。その功績を評して国会議事堂のある地名に「永田町」という名がついたそうです。

次は五色町広石（現洲本市）出身の「三島徳七」です。

農家生まれの三島博士は東京帝大工学部で学び、世界最強の磁石「MK 永久磁石」を発明、今日の磁石の基礎を作った人です。この磁石は、電子機器、通信機、航空機、自動車などの各産業で広く使われていて、昭和32年アメリカの金属学会で、アルバート・ソーバー賞を受賞したパーティーの演説で、アイゼンハワー大統領が「日本の三島博士のマグネット（磁石）は、科学面でアメリカに貢献した」と誉めたラジオ放送されたそうです。まさしく世界の三島博士です。

日本の発明家10名にも選ばれています。

◆スタッフからの一言◆

こんにちは、もうすっかり秋めいて、朝夕は肌寒く感じる季節になりました。

蒸し暑さからも解放され夜もぐっすり、朝は布団から出にくくなってきました。

秋は美味しい食べ物もいっぱい、運動するのも最適で、今から紅葉も見頃だし、じっとなんかして
いられませんね。

（担当：中山）

【浜田屋本店の会社概要】

- ◆商号：浜田屋本店
- ◆設立：昭和41年1月5日（創業：明治35年）
- ◆所在地：兵庫県洲本市安乎町平安浦 1864-8
- ◆HP：<http://www.hamadaya-honten.jp/>
- ◆TEL：0799-28-0330 FAX：0799-28-1556

【社長のプロフィール】

- ◆濱田 昌宏（はまだ まさひろ）
- ◆誕生日：昭和34年3月30日
- ◆出身地：兵庫県洲本市（淡路島）
- ◆趣味：考古学、日本の超古代史研究
- ◆座右の銘：我以外人皆師

